

## スローガンについて

このプランのスローガンは、地域福祉推進委員会で案を出し合うと共に一般公募も行いました。令和3年11月の公民館祭にて、出された案の中から人気投票を行い、最も票を獲得した「あなたの笑顔とあがたの笑顔」に決定しました。

## イメージキャラクターについて

あがためき げん太くん



県地区福祉のまちづくりプランを策定する中で、イメージキャラクターが誕生しました!

原案者は県地区地域福祉推進委員である高橋由美子さんです。原案をもとに中村友香さんがパソコンで描いてくださいました。今後、地域の様々な活動の中で登場します。お楽しみに!!

## 県地区はSDGsに取り組めます

貧困、紛争、気候変動、感染症。人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなると心配されています。そんな危機感から、世界中のさまざまな立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。

それが「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」です。

このプランの内容とSDGsとの関連について箕蜂屋中学校の生徒、地域福祉推進委員会分科会メンバーでそれぞれ検討しました。県地区では未来のために、SDGsを意識した持続可能な福祉のまちづくりを目指して取組みを進めていきます。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 福祉のまちづくりプランってなに?

**A** 住民同士がそれぞれの思いや知恵を出し合いながら、地区内の「福祉のまちづくり」を考えます。話し合う中で共通の認識や目標をつくり、具体的な住民活動を計画として明らかにするものです。

## なぜ必要なの?

**A** 誰もが暮らしやすいまちとは「公的なサービス」と「住民同士の助け合い」の両方が充実しているまちです。昨今の福祉課題に対して、公的なサービスだけで全ての解決はできません。地域にはすでに住民同士の様々な助け合いの活動がありますが、それらを計画的に進めるために、また足りない仕組みを補うために、地区全体として「住民同士でできること」を計画にまとめることで、誰もが暮らしやすいまちづくりに繋がります。

## どうやって作ったの?

**A** 県地区の住民の代表者で「地域福祉推進委員会」を立ち上げ、米子市社会福祉協議会と一緒に策定しました。住民意識アンケート調査などで寄せられた福祉課題をもとに話し合いを重ね、計画のテーマを「安心安全」「防災」「居場所づくり」「支援活動」「ふるさと教育」「人材発掘」の6点に決定し、3つの分科会にて取組内容を決めました。

令和2年10月 福祉のまちづくりプランのアンケート調査 2,900人への配布 2/37名 72.7%

### 県地区のみなさんへお願い

誰もが暮らしやすいまちをつくるためには、この地区に暮らす一人ひとりの気持ち大切です。本書を手にとられたことをきっかけに、地域の活動に少し目を向けてみてください。もしかしたら、あなたが「あたりまえ」と思っている日常の景色のなかに、県地区のために頑張っている人や活動の存在に気づくかもしれません。そうした活動に関心をもっていただき、ここに書かれている取組みに協力していただければ幸いです。

表紙のイラストは、県地区にお住まいの井上和典(いのうえかずのり)さんに描いていただきました。県地区を象徴する風景や文化財を組み合わせた構図を考えてくださり、県地区の素晴らしさが皆さんに伝わるよう、心を込めて描いてくださいました。

### 県地区福祉のまちづくりプラン

**策定** 県地区地域福祉推進委員会

**連絡先** 県公民館 ☎0859-27-1010

**編集発行** 社会福祉法人 米子市社会福祉協議会

※本書に掲載しているイラストの無断複写・転載を禁じます。